

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階
TEL : 03-3769-6571 FAX : 03-3769-6570

発行日 2023年5月2日
発行人 慶島 譲治

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

【 ITF観光サービス部会総会 】

サービス連合の櫻田副会長が副議長に選出される！

4月17日～18日にカリブ海のアンチグア・バーブーダで国際運輸労連（ITF）観光サービス部会総会が開催され、世界各国のITF加盟観光労組から約80名の代議員が参加した。日本からはサービス連合の代議員5名（オンライン参加含む）が参加した。

観光サービス部会総会は、観光サービス部会に登録する全てのITF加盟組織が参加できる、観光サービス部会最大の機関会議で、五年に一度開催される世界大会の間に一度開催される。

アンチグア・バーブーダはカリブ海に位置する小国（面積440平方キロメートル、人口9.7万人）で、会場となったアンチグア島（主島）と、その北方のバーブーダ島、無人のレドンド島で構成される。ホスト組合のアンチグア・バーブーダ労組（ABWU）は同国最大の民間労組で、国家経済の約8割を直接・間接的に支えている観光産業のほか、航空、金融、不動産、流通・製造、通信、交通運輸産業等を組織している。ABWUのデビッド・マシア書記長が現在、ITF観光サービス部会の議長を務めている。



デビッド・マシア ITF 観光サービス部会議長

総会の主要議題は、コロナ禍の影響、今後の戦略、ITF登録人員の推移、役員選挙（欠員補充選挙）等だった。



サービス連合の代議員（左から宇高誠東武トップツアーズ労組委員長、岡崎功副会長、中込真人会長代理）

コロナ禍の影響の議題において、サービス連合の中込真人会長代理が日本の状況について、人流抑制や厳しい水際対策によって観光産業が大打撃を受ける中、政府に対して12回に及ぶ緊急要請を行い、雇用調整助成金の特例措置期間を延長させ、雇用確保を図ったことを報告した。また、観光業は経済活動と雇用への波及効果が大きい産業である一方、外部要因に大きく影響を受けるため、安定して対応していける基盤をつくっていくことが必要であると述べた。

ITFの今後の戦略については、①Power -力（観光業のサプライチェーンに沿った組織拡大）、②People -人（労働安全衛生）、③Planet -地球（サステナビリティ）の三本柱で進め

ていくことを書記局が説明した。

その後、サービス連合の櫻田あすか副会長が組織拡大について発言し、国際食品関連産業労働組合連合会(IUF)と引き続き連携を強化していくことが重要であることを強調した。また、残念ながら現在は、ITFアジア太平洋地域観光部会は解消しているものの、過去にはアジア太平洋地域レベルでITF、IUF、UNIが連携した実績があり、今後も世界レベル、および地域の観光部



リモートで発言する櫻田副会長

会が継続しているところでは地域レベルで他の国際産別組織と連携しながら組織拡大を推進していくことが重要であると述べた。これに対して、ITFのガブリエル・モチョ・ロドリゲス観光サービス部長が「過去にITF、IUF、UNIの三者の連携で成功を収めたことがあったが、IUFとUNIに問題が生じ、連携の優先順位が下がっていった。しかし、コロナ禍を経て、連携・協力強化の必要性が再認識され、ITFとUNIの執行部のコミットメントも得られたため、ITFとIUFとの間で新たに締結された覚書を地域レベルで実施していきたい。アスカにもその一部を担ってほしい」と述べた。

リモート参加の予定だった台湾観光労連(TTLU)の代議員がネット接続の問題で参加できなかったため、団体協約交渉を拒否され続けているTTLUに対するITFの支援を要請する緊急声明文を住野敏彦ITF副会長(交運労協議長)が代読し、全会一致で採択された。

ITFの戦略に関する議論の中で、①ITFによる観光労働者の組織拡大、②観光サプライチェーンにおける労働者の力の構築、③人身取引、④LGBTQI+の平等と観光セクターの四本の動議が採択された。

観光サービス部会の登録人員の推移については、前回世界大会が開催された2018年は67組合、47,366人だったが、2023年は75組合、105,343人と倍増したことを書記局が報告した。

役員の補充選挙では、サービス連合の櫻田あすか副会長が副議長に選出された。補充選挙の結果、ITF観光サービス部会の役員は次の通りとなった。(太字が今回の補充選挙で新たに選出された役員)

役職	氏名	所属組織	国
議長	デビッド・マシア	アンチグア・バーブーダ労組 (ABWU)	アンチグア・バーブーダ
副議長	櫻田あすか	サービス連合	日本
副議長	マリカルメン・ドナート	FeSMC UGT	スペイン
女性代表	プラヴィーナ・シン	全インド鉄道員連盟 (AIRF)	インド
青年代表	ネデズダ・スタネヴァ	ブルガリア交通運輸労連 (FTTUB)	ブルガリア
一般委員	ファイサル・アリ・ウマンスール	FNEHRT	モロッコ
一般委員	デスティリア・ヘンリー	セントルシア海員港湾一般労組	セントルシア
一般委員	欠員		

補充選挙の後、ITFのガブリエル・モチョ・ロドリゲス観光サービス部長が、2014年～2018年までITF観光サービス部会議長を務めた後藤常康サービス連合会長(現ITF観光サービス部

会一般委員) が本総会をもってITF観光サービス部会の役員を引退することを報告し、後藤委員のこれまでの貢献に謝意を表明するとともに、今後の活躍を祈念した。

その後、ITUとIUFの連携強化を目指す覚書の調印式が行われた。今後、両組織は①観光産業全体の組織拡大戦略の共同策定、②環境・社会・企業統治 (ESG) 等の重要分野に関する政策の立案、③労働基準の引き上げを目指して使用者、利害関係者、国際機関 (国連世界観光機関を含む) に対して影響力を行使、④観光産業の持続可能な回復に関するILOの結論の採択を通じて業界の改革を提唱の四つの分野で連携を強化していく。(ITFオンラインニュース記事参照*)

最後に、デビッド・マシア議長がスティーブ・コットン書記長の2024年世界大会での書記長再選を支持する声明文を読み上げ、閉会した。

* [2023年4月20日配信 ITF ニュースオンライン記事：世界の観光産業の転換を目指して、ITF と IUF が「観光労働者アライアンス」を結成](#)



会議終了後に、校内の安全確保等を求めてストを実施中のアンチグア・パーブーダの教師に連帯を表明する写真撮影が行われた。

以上